

|                     |  |  |  |
|---------------------|--|--|--|
| <b>活動事例</b>         | <b>ハイテクつくばの土壌改良材の開発</b>  |  |  |
| <b>【相手先企業】</b>      | 株式会社つくばアイノ, 茨城大学農学部  |  |  |
| <b>【開発の背景】</b>      | <p>農家等から出た籾殻は機械で粉碎したり、炭化したりして一部堆肥に再利用されていたが、そのほとんどは産業廃棄物として焼却処分されることが多かった。</p> <p>籾殻は炭化されると栄養分が損なわれるため発酵分解すれば植物育成の上で重要なケイ酸の含有量をほぼ維持できる点に着目し、短期間で分解発酵する技術を有する茨城大学農学部(原 弘道 准教授(退職))との共同研究により、土壌改良材を開発した。</p> |  |  |
| <b>【開発の経緯・支援内容】</b> | <p>つくばエンバイロフォーラムの活動から、バイオベンチャーや個人が中心となり、新事業創出を目指す「つくばバイオマスもみがら研究会」が平成 17 年度に発足した。この研究会活動からハイテクつくばの土壌改良材は開発された。</p>   |  |  |
| <b>【開発した製品の紹介】</b>  | <p>ハイテクつくばの土壌改良材は、土の表面にパラパラ撒き軽くすき込むだけで、発酵もみがらが土の中で分解して微生物が土の団粒化を促進させる結果、保水性、透水性、保肥性等を高める。また、発酵もみगरらに含まれる水溶性ケイ酸は光合成を活発にし、植物の生命活動を活性化させる。</p> <p>平成 21 年より、330g(4.5 リットル)1 坪用 280 円にて発売中。</p>                |  |  |
| <b>基礎となった事業</b>     | 平成 17~21 年度 つくば産業集積支援事業<br>平成 22 年度 いばらきサロン活動強化事業  |  |  |
| <b>担当部門</b>         | いばらきサロン コーディネータ 蛭田 政宏 tel : 029-858-6015   |  |  |

|                     |  |  |  |
|---------------------|--|--|--|
| <b>活動事例</b>         | <b>モミちゃん米</b>  |  |  |
| <b>【相手先企業】</b>      | 株式会社つくばアイノ   |  |  |
| <b>【開発の背景】</b>      | <p>近年、食の安全性を求める消費者が増えているが、安心して美味しいのは当たり前、更にその上の食味を目指して発酵もみがらで土作りを行った循環型稲作が注目されている。</p>   |  |  |
| <b>【開発の経緯・支援内容】</b> | <p>対象企業は、稲敷市の農家と連携し、つくばバイオマスもみがら研究会活動から開発された「ハイテクつくばの土壌改良材」を活用して、1 反当たり 7 俵ほどの米を収穫出来る土作りを行った。具体的には植物性有機物を発酵分解させて田畑に戻し、田畑に微生物の多様な世界を作り出し、土を豊かな生態系のある土壌にする。農薬使用は初期除草剤一回のみとし化学肥料は一切使用しない。</p> |  |  |
| <b>【開発した製品の紹介】</b>  | <p>ハイテクつくばの土壌改良材と発酵もみがらを活用し、土作りをした田んぼで育てた「モミちゃん米」は、平成 22 年は 1,000 パック限定で 600g(4 合)500 円にてインターネットにて試験販売を実施している。</p>   |  |  |
| <b>基礎となった事業</b>     | 平成 21 年度 つくば産業集積支援事業<br>平成 22 年度 いばらきサロン活動強化事業   |  |  |
| <b>担当部門</b>         | いばらきサロン コーディネータ 蛭田 政宏 tel : 029-858-6015   |  |  |